

トルコ サクランボ輸出目標を3億ドルに上方修正

[RALLY NEWS 2024年4月29日](#)

サクランボの生産量で世界一を誇るトルコは、最初の収穫から2週間以内にサクランボの収量と品質が好調に推移したことを受けて、輸出額の目標を2億5千万ドルから3億ドルに引き上げた。

エーゲ海地方青果物輸出協会会長でエーゲ海地方輸出協会副コーディネーターでもあるハイレットイン・ウチャク氏は、2024年に12万トンのサクランボを輸出し、3億ドルの外貨を獲得することを目指していると述べた。(以下「」は同氏の発言)

北半球で最も早いサクランボを栽培するマニサ県シェザデレル(シェハザデラー)地区のサクランボ園を訪れたウチャク氏は、サクランボの出荷シーズンに入ったとして、収量と品質が非常に良いと指摘した。

ウチャク氏は、トルコの2,200万本の果樹から72万5千トンの収穫を見込んでいることを強調した。

「今年は約12万トンのサクランボの輸出を目指しており、その目標を達成できることを願っている。市場で生産者と輸出業者にとって理想的な価格が形成されれば、3億ドルの輸出を実現できると思う。」

サクランボを6か月以上世界に供給できる

ウチャク氏は、トルコでサクランボが最も早く生育する地域はマニサ県シェザデレル地区とイズミル県ケマルパシヤ地区であるという情報を提供し、次のように続けた。

「イズミル県とマニサ県は、トルコにおけるサクランボの果樹の26%を占めており、この2県で14万7千トンのサクランボを生産している。

早産地から始まった輸出は、他のサクランボ産地からの出荷を得て約6か月続く。この地理的な優位性を活かして、2023年には、2億1,579万6千ドル相当、8万3千トンのサクランボを55カ国に輸出した。

輸出先ではドイツが9,550万ドルで第1位であった。これにロシアが4,380万ドル、オーストリアが1,420万ドルが続いた。

ジラート0900品種は、その鮮やかな赤色、果粒の大きさ、独特の香り、貯蔵可能期間の長さのために好まれており、地域の生産者にとって主な収入源となっている。」

航空貨物で輸出をさらに増やすことができる

ウチャク氏は、サクランボの輸出で世界をリードしているチリは、トルコよりはるかに生産量が少ないにもかかわらず、輸出では先行していると言う。

「チリは中国、極東、米国、ヨーロッパに航空貨物で非常に迅速に輸出している。トルコは、まずは極東諸国、特に中国と植物検疫協定を締結し、航空貨物を強力に利用することで、チリの輸出レベルに達することができる。」

同氏は最後に、生産者と輸出業者にとって実り多いシーズンになることを願っていると述べた。